

流域 みんなで たのしく 治水

あ め に わ

雨庭をつくろう！



あめにわ
Rain garden



くまもと雨庭パートナーシップ
kumamoto ameniwa partnership



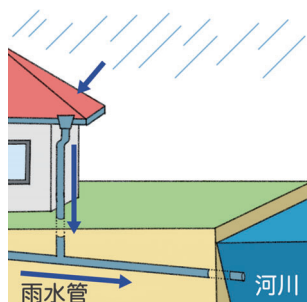
雨庭とは？

雨庭とは、屋根やアスファルトなどに降った雨水を、排水路や河川に直接放流させず、一時的に貯留したり、浸透させるための庭や空間のことを指します。



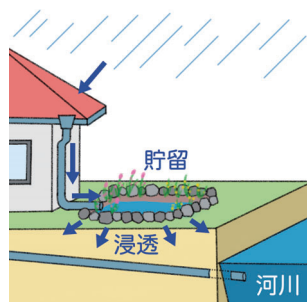
期待される効果

雨庭をつくることで、洪水の抑制、地下水かん養、生物多様性の保全、ヒートアイランド現象の緩和、潤いのあるまちづくりなど、安全で美しい熊本づくりに貢献することができます。



従来の雨水

屋根やアスファルトなどに降った雨水は、雨樋や雨水管を通して水路や河川へ、直接すみやかに排出されることになっています。豪雨の際には河川に多くの雨が集中して流れ込み、一気に河川の水量が増加してしまいます。



雨庭のある雨水

屋根などに降った雨水を取り入れ、雨庭に一時的に溜めたり、土壌に浸透させることで河川への流出を抑えます。また、流出のスピードを遅らせることで洪水を抑制することができます。



洪水の抑制

雨水を一時的に貯留し、地面に浸透させることで、雨水が一気に河川に流れ込んで発生する洪水を抑制します。ただ、雨庭一つだけでは治水効果は発揮することができません。みんなで協力して流域のさまざまな場所につくっていくことが大切です。

地下水かん養

雨水を地下に浸透させるため、地下水かん養効果が期待されます。降った雨は地中にしみ込み、湧水となります。健全な水循環の形成にも効果的です。

生物多様性の保全

生き物や在来植物の生息場所となり、生物多様性を保全します。

ヒートアイランド現象の緩和

雨庭から蒸発する水によって、ヒートアイランド現象を緩和します。

潤いのあるまちづくり

緑豊かな庭が増え、潤いのあるまちづくりにつながります。

雨庭認定について

くまもと雨庭パートナーシップでは、2030年までに2030箇所の雨庭を整備することを目指しています。より多くの人に雨庭を知ってもらい、取り組みを広げるために雨庭の認定を行っています。認定された雨庭はホームページで紹介していますのでぜひご覧ください。認定した雨庭の中から優れた雨庭の表彰も行います。応募をお待ちしています。



雨庭を作りたい方へ



雨庭に興味を持ち、作りたい方は、まずはホームページをご覧ください。雨庭の作り方を紹介しています。雨庭にも色々な形があるので、認定された雨庭を参考にしてみてください。

あめにわパートナーズ募集

あめにわパートナーズ（くまもと雨庭パートナーシップの活動に参画・共同する方）を募集しています。あなたも、あめにわパートナーズとなり、一緒に雨庭を広めていきましょう。



くまもと雨庭パートナーシップ

<https://www.kumamoto-ameniwa-partnership.com/>

熊本 雨庭

